

1. 建学の精神

「自立・自活できる人材の育成」

2. 教育目標

「自立的でかつ調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、生を慈しみ相互の人格と尊厳を尊ぶ社会性を培う。」

「真理の探究に努め、新時代に求められる教養を身につけ地域社会への貢献を果たすべく高い専門性の修得を図る。」

「心身の鍛練に励み、進取の気概に溢れた明朗活発な心と自らの能力の最大限を発揮しうる優れた体力を養成する。」

3. 学科別の教育目的

(1)ライフデザイン総合学科

現代社会は急激なテンポで変動しており、経済優先から生活優先、物の豊かさから心の豊かさを目指した社会の実現が期待されています。このような社会に対応し、専門職としてのニーズに応えられる学生の養成を目指し、センス豊かな色彩感覚と卓越した感性、デザイン力を高める教育に努めています。さらに、幅広い教養と専門的な知識を深く学び、優れたバランス感覚としなやかな感性を身につけた、時代の求める人材の養成をめざします。

(2)食物栄養学科

21世紀社会で求められる「健康」について運動、栄養、休養の面から適切な指導のできる栄養士を養成します。飽食の時代、従来の成人病が生活習慣病と名称が変更され、健康増進と疾病予防のため生活習慣の重要性が見直されています。栄養学、調理学、食品学、その他の食関係学を学び、更にコンピュータ等の情報機器を駆使して給食管理及び正しい栄養指導ができる栄養士を目指します。また、社会情勢の急速な変化にも対応して生き抜いていくために、情報処理やビジネス処理等について重点的に学び、事務処理の分野でも活躍できる人材の育成にも努めます。

(3)幼児教育学科

普遍的に求められる保育者の資質や能力の育成と、常に時代や社会の変化を見極め、その求めに対応しうる資質能力の育成を目指し、次の5項目にわたる教育目標を定めています。①実践的指導力を有する保育者の養成、②創造的資質能力と基礎的保育力の育成、③豊かな心と個性や創造性の基礎を培う教育力の育成、④家庭や地域社会の子育て支援力の育成、⑤社会人としての豊かな教養と知識の習得

(4)介護福祉学科

「超高齢社会」を目前に、今その福祉を担う専門職としての介護福祉士の役割が大きくなっています。「元気よく生活支援ができ、人の気持ちに寄り添える、礼儀正しい介護福祉士」の養成を目指し、高度な介護技術と共に高齢者の心を理解し円滑なコミュニケーション力を養うことを教育目標とし、その達成を目指した教育課程を編成し実施しています。さらに、高齢者の生活をトータルに支えるために、栄養・調理などの知識や技術、併せて衣服や住居などの家事援助について学ぶとともに視・聴覚障害者ともコミュニケーションがとれるような講座を開講しています。